



奈良県感染症情報

令和2年第33週(8月10日～8月16日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 介護事業所等の感染症対策

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.32	(1.68)	↘	↘	↘	↗
2	突発性発しん	0.29	(0.35)	↘	→	↘	↘
3	A群溶連菌咽頭炎	0.12	(0.29)	↘	↘	↘	↘
4	ヘルパンギーナ	0.09	(0.35)	→	↘	↗	→
5	手足口病	0.06	(0.24)	↘	↘	↘	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

定点把握感染症の流行はみられません。

全数把握感染症ではライム病が1例報告されました。推定感染地域が奈良県である初の症例です。春から初夏、秋はマダニの活動期であり、野山に入るときは肌の露出を少なくし咬まれないようにしましょう。(ライム病等のダニ媒介感染症については次週「気になる話題」にて掲載を予定しています。)

新型コロナウイルス感染症の複数の感染者が発生した施設や学校が報告されています。また、飛沫の拡散を防ぐためマスク着用は大事ですが、連日の猛暑のため熱中症の危険が高く、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保されている場合には、マスクを外すようにしましょう。

介護事業所等の感染症対策

全国各地で、新型コロナウイルスの感染者が確認されています。

介護事業所等の高齢者施設では、感染した場合、重症化するリスクの高い方も多く、施設に「持ち込まない」「広めない」ための対策の徹底が必要です。

また、感染者や濃厚接触者が出た場合の対応を想定しておきましょう。

<重症化のリスク因子例>



<参考動画>厚生労働省 YouTube

- ☑ 「介護老人福祉施設(特養)のためのそうだったのか! 感染対策」
- ☑ 「訪問介護職員のためのそうだったのか! 感染対策」他

平時からの感染対策

- 職員、入居者の日々の健康管理
- 手指消毒、マスク着用、定期的な換気
- 防護具の着脱方法の確認
- 施設的环境整備

発生時を想定した準備

- 個室管理、生活空間の区分け
- 勤務体制の変更、人員や物資の確保
- 検査のための検体採取場所の検討
- 入居者、家族、協力医療機関等との情報共有

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 33 週 8 月 10 日 ~ 16 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	1 (0.03)				1 (0.17)			
A群溶連菌咽頭炎	4 (0.12)	1 (0.11)	2 (0.22)		1 (0.17)			
感染性胃腸炎	45 (1.32)	5 (0.56)	15 (1.67)	3 (0.43)	19 (3.17)	3 (3.00)		
水痘	1 (0.03)				1 (0.17)			
手足口病	2 (0.06)	1 (0.11)	1 (0.11)					
伝染性紅斑								
突発性発しん	10 (0.29)	3 (0.33)	4 (0.44)	1 (0.14)	2 (0.33)			
ヘルパンギーナ	3 (0.09)	1 (0.11)			2 (0.33)			
流行性耳下腺炎	1 (0.03)			1 (0.14)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎								
葛城定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(奈良市1、中和1)
3類感染症	
4類感染症	ライム病1件(吉野1) レジオネラ症2件(中和1、吉野1)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) 梅毒1件(中和1)

❖ 第33週のトピックス ❖

IASR 新型コロナウイルス感染症における積極的疫学調査の結果について(第1回)(2020年6月3日時点:暫定)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/coronavirus/2019-ncov/2488-idsc/iasr-news/9803-487p01.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						3009
	女																						
RSウイルス感染症	男																						105
	女																						69
咽頭結膜熱	男			1																			1
	女																						99
A群溶連菌咽頭炎	男							2	1														3
	女							1															630
感染性胃腸炎	男		1	4	1	1	2	2		1	1	1	1	3	2	6							26
	女			3	1	1	1				1	1	4	2	5								1471
水痘	男										1												1
	女																						81
手足口病	男					1																	68
	女														1								74
伝染性紅斑	男																						2
	女																						59
突発性発しん	男			2	2																		158
	女			2	4																		117
ヘルパンギーナ	男				2						1												4
	女																						212
流行性耳下腺炎	男				1																		6
	女																						194
急性出血性結膜炎	男																						2
	女																						25
流行性角結膜炎	男																						1
	女																						25
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						28
	女																						31
マイコプラズマ肺炎	男																						15
	女																						14
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1
	女																						7

◆注目疾患の動向◆ 全て定点当たり報告数

■ R2 ▲ R1 □ H30 〰 過去10年平均

